

⑰こまめな水管理と節水意識の徹底

【山口県 下関市豊北町】

- 少雨・渇水に備えた節水のためのマニュアル作成。
- 受益者間で協議を行い、節水意識の徹底を図られるほか防災意識が向上。

地域概要

- 山口県下関市豊北町にある大浴の下池は、堤高4.5m、堤長41mの土堰堤（貯水量1,200 m³、満水面積0.60 ha、流域面積は10 ha、受益面積3.5 ha）。
- 上流側の上池、中池から接続され、送水されている。
- 施設の管理は受益者で行われている（世話役2人、水利権者10人）。



位置図

(出典 (左上) GoogleMap (右下) 国土地理院地図※一部加筆)

対策の内容・結果

【マニュアルの策定】

- 番水制の他、貯留水位毎にバルブ操作のルールを明記し、渇水時の対応を取り決め、的確な操作が行えるようにマニュアルを策定。

【受益者間での協議】

- 毎年取水開始前に調整会議を実施し取水開始日や取水順序等を取り決めたり、早期の呼びかけ等を実施。

- 受益者同士でこまめな水管理と節水意識の徹底を行い、用水不足の解消を行う。
- 地域住民の防災意識が向上しているとともに、住民間の交流が一層図られるようになった。



下池

(出典：農林水産省HP)

水利用ルールの具体的内容

- ① 毎年取水開始前に全体調整会議を開き、取水開始日と取水順序を取り決める。
- ② 水路の点検（逸水防止）及び清掃を、取水開始前に全員（10名）で行う。
- ③ 取水開始前には取水栓を開けない。
- ④ 代かき期から梅雨明けの期間において、水の必要な人は各自で取水栓を開けて取水し、開けた人は必ず18:00までに取水栓を閉める（夜間の捨水防止）。
- ⑤ 梅雨明け後の取水は番水制（5班に分けて5日サイクルで取水）とする。
- ⑥ 盆前の時期において、中池の水位が1/3以下になった場合、専任の世話役は全員に節水を呼びかける（一回で取水する量を減らす）。

池の水位管理方法の具体的内容

- ① 専任の世話役が上池と中池のバルブ操作を行う（責任明確化、水位管理の適正化）。
- ② かんがい期において取水が必要な人は、各自で下池の取水栓を開閉する。
- ③ 専任の世話役は下池水位が1/3以下になった時、バルブ操作で中池より下池に注水する。
- ④ 専任の世話役は中池水位が1/2以下になった時、バルブ操作で上池より中池に注水する。

マニュアル内容

(出典：農林水産省HP)

対策の背景

節水対応

- 平成16年7月、降雨量が平年の1/7まで低下する大渇水が発生。
- 下流のため池の水位も1/3まで低下し、上流のため池から注水するなどして対応。
- その際、的確なバルブ操作ができる専任の世話役が必要と認識された。